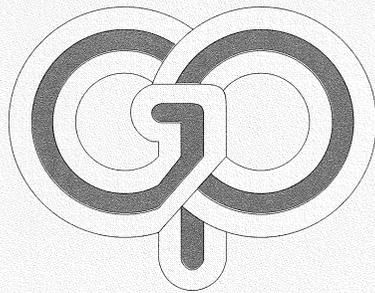


岐阜県の プラスチック



関係者招いて盛大に『創立25周年記念式典』を開催
『廃プラスチックのリサイクル』・記念講演の要旨
記念式典の行事が岐阜新聞などに紹介されて話題に
組合青年部11月研修会・工業組合の親睦ゴルフ大会

デザインのすすめ
組合員の工場訪問
事務局だより

工業組合の創立25周年記念式典



成形業界発展の原動力に

盛大に「25周年記念式典」を開催

関係者招き記念表彰や講演

岐阜県プラスチック工業組合は、10月7日、関係団体・業界の代表多数を岐阜グランドホテルに招いて『工業組合創立25周年記念式典』を開催した。工業組合は昭和43年6月に創立、いらい岐阜県プラスチック成形加工業界の軸となって業界の振興発展に寄与してきたもので、大松理事長は「政治、経済の各面で大きく変革する中で、プラスチック業界も激しい変遷を遂げてきた。この波の中で工業組合は様々な事業を行い、企業においては技術革新に対処し、今日の発展を勝ち取ってきた」と報告、さらなる発展を誓った。

一層の工業組合 充実と活動強化

岐阜県プラスチック工業組合の創立25周年記念式典は竹内安之事務局長の司会のもと、児玉俊一副理事長が「次の30周年に向け、大きく飛躍する有意義な記念式典にした」と開会あいさつを行った。

式典の行事は、まず、大松利幸理事長が「創立25周年を迎えることができたのは、関係官庁・団体をはじめ原材料・機械などのメーカーや成形加工製品のユーザーら各位のご協力のおかげ」と感謝のあいさつを述べたあと「工業組合は昭和43年、それまで活動してきたプラスチック協会を礎に発足し、25年を経過した。この間、業界は岐阜県の七大産業に数えられるまでに発展、また、工業出荷額



「工業組合組織の充実と活動強化を…」と挨拶する大松理事長

は県全体の5%台を維持するまでに成長した。今日のプラスチック産業は二次大戦後の昭和30年代に誕生、いらい急成長を遂げ、素材ベースに換算して1,200万トンの強となり、比重換算では鉄鋼生産に匹敵する。成形加工業界はもとより機械、金型から副素材にいたるプラスチック関連全産業が、わずか30余年の間に今日の規模



「技術を磨き、獨創性を」と祝辞を述べた岩垣商工労働部長

にまで成長したことは産業発達史上、類い希なものと言え、感慨ひとしおである。今後もプラスチック産業の明るい将来を信じ、工業組合組織の充実と活動強化を図りながら前進していきたい」と決意を述べた。

続いて来賓の祝辞に入り、中部通産局長代理の鈴木悟商工課長が「いぜん厳しい景気の中で

25周年を迎えたことは喜ばしい。国としては景気対策はもとより、経済構造を抜本的に改革するため、包括的な政策パッケージの策定に速やかに取り組んでいきたい。こうした課題の克服は、業界はもとより国民各位の理解と協力が不可欠であり、より一層の組合組織の充実と活動を期待している」と祝った。また、岐阜県知



組合功労で県知事表彰を受けた児玉庄一氏ら工業組合の前役員6人

事代理の岩垣儀一商工労働部長は「この不況は岐阜県経済に悪い影響を与えている工業出荷額も自動車販売額も大型店も住宅建設戸数もすべての指数が全国平均を下回っている。このため



武藤前理事長や日置前技能検定首席検定委員らに大松理事長から感謝状が手渡された

県はできる限りの景気対策に取り組み、6月と9月の補正予算で公共投資を500億円増やした。融資制度も6月に30億円、9月に100億円増額、総額1,000億円を越える融資枠とし、貸出金利も平均4.1%から3.8%に下げるなど、行政として最大限の景気対策を進めた」とし「この機会に企業は技術力を磨き、独創性のある経営をめざしてほしい」と呼びかけた。最後に岸上慎次郎岐阜県工業技術センター場長が「新素

材融合化試験室、複合材料開発試験室、金属粉末の射出成形施設などと、業界のニーズに対応できる施設を整え、各種の研究開発に取り組んでいる。これをもとに一層、産学官の連携を深めていきたい」と、祝辞をしめくくった。

児玉元副理事長らに県知事表彰

続いて記念表彰式。まず、組合功労では役員であった児玉庄一、吉田博司、日比正隆、奥村勝、納土栄一郎、篠田哲の6氏が岐阜県知事表彰を受け、岩垣商工労働部長から表彰状と記念品が手渡された。



賛助会員代表の田村日精樹脂・名古屋営業所長のあいさつ

工業組合からの感謝状贈呈では5月まで理事長を勤められ現在は顧問の武藤昭三氏と、プラスチック技能検定委員として活躍された日置正、長屋喜八、足立弘之、河本進一、井藤正司の6氏に大松理事長から手渡された。



平林プラスチック工業連盟理事の乾杯音頭と武藤組合顧問による万歳三唱

記念式典の後はプラスチック処理促進協会調査広報部長の中根和博氏から『プラスチックのリサイクル』をテーマに記念講演を聞いたあと、記念パーティーで参加者全員が交流を深めた。とくに賛助会員を招いての初事業だけに親睦・交流は盛り上がった。



進む廃プラのリサイクル

式典で処理促進協会の
中根和博調査部長講演 内外の動向を詳細説明

岐阜県プラスチック工業組合は、創立25周年記念式典に続いて『記念講演会』を開催した。講師は社団法人プラスチック処理促進協会調査広報部長の中根和博氏で『プラスチックのリサイクル』をテーマに、廃プラスチックのリサイクルと処理の現状を聞いた。次に中根さんの講演要旨を紹介すると。

廃プラ問題の背景と処理促進協会

プラスチックの生産量は年々増加し、1991年には、1,280万トにも達している。同時に廃プラスチックの排出量も増え、620トに達している。話は30年前にさかのぼるが、地方から都市への人口が集中、都市ゴミの排出量が急増、その対応が社会問題となった。当時のプラスチック生産量も急速に伸びている時で、清掃関係者は都市ゴミの焼却が進まないのはプラスチック包装の廃棄物だとし、業界に対応を求めてきた。

このためプラスチック業界はプラスチック処理促進協会を設立（1971年）し、分別収集した廃プラスチックの再生品製造、熱分解、専用焼却炉による焼却などの実験を行ってきた。また、再生業者の育成、各種の調査、広報活動を展開してきた。

一方、国、自治体の努力で焼却炉の建設が進み、1990年には焼却比率74.4%に達し、有害ガスの発生、高温による焼却炉の損傷（いずれも対応策はできている）などの非難はあるものの欧米に比較して問題は沈静化している。

産業廃棄物としてのリサイクルは

ここで産業廃棄物としてのリサイクルに目を転じると。プレ・コンシューマーとでもいうべ



廃プラ問題で講演する中根さん

き成形加工業者からスクラップを回収し、再生ペレットにしている業者は、全国で5-600社あり年間約54万トをリサイクルしている。また使用済みポリエチレンフィルム、電線屑などから土木建設用の棒、杭、板などの再生品を成形している業者も数百家あり、年間約18万トをリサイクルしている。このほか、PETのフィルム屑からスフ綿、トレー・卵パック用のシートを製造する業者もいる。

各業界団体ごとにリサイクル実施

PETボトル協議会のリサイクル対策は、ウイズウェストジャパンと協力し、栃木県に年間5,000トをリサイクルする工場を建設した。計

画では今世紀中に全国5カ所の施設を設置、生産量の半分年間8万トンをリサイクルしていく。

発砲スチロール再資源化協会は、魚箱、家電製品の緩衝材などを年間3万トンリサイクルしている。協会は1995年までに全国にエプシー・プラザを200カ所以上設置し、生産量の25%、43万トンのリサイクルを企画している。

発砲P Sスチロールメーカー、発砲スチレンシート工業会は、東西2カ所にリサイクル施設を設け、トレーの回収とリサイクルを行っている。行政、消費者団体、流通業者の協力のもとに実施しているが、問題点も多く、昨年の回収率は140万トンであった。一方、大手トレーメーカーはスーパーと協力、昨年は2-3,000万トン回収したとされるが、最終的にどのような製品にリサイクルされたかは明確になっていない。

油化や固形燃料化の事業も各地で

油化や固形燃料としてのリサイクルはどう

なっているのか。廃プラスチックを加熱すれば分解することはよく知られる。処理促進協会でも20年前に実施、ある程度の規模でないと経済性がないことを実証している。昨年、フジリサイクルが相生市に建設した年間5,000万トンを処理する施設は産廃系廃プラを原料としている。桶川市に建設された年間400万トンの処理施設は、都市ゴミ中の廃プラを対象にしている。いずれもゼオライト触媒を使用し、比較的分子量の生成油を得ることに成功した新技術である。

産廃系の廃木材、古紙を主体に廃プラを10%程度使用した札幌市の固形燃料は、冬季の地域暖房に活用されている。また、シナネン、タクマの開発した廃プラと印刷廃棄物を原料とした固形燃料・焼却炉システムは染色工場で使用されている。家庭ゴミや家庭ゴミの中の廃プラスチックを原料とした日本リサイクルマネジメントの固形燃料システムも小規模ながら数カ所で使用されているのが現状である。



記念式典の会場に再生製品を展示

工業組合は記念式典会場にプラスチック再生製品約50点を展示し、業界の努力をアピールした。

記念式典の状況 新聞で紹介される

工業組合の25周年記念式典の様子が、岐阜新聞など各新聞に写真付きで詳しく紹介され、話題になった。次はそのスクラップ。

創立25周年で記念式典 岐阜プラスチック工組



岐阜プラスチック工業組合の創立25周年式典

【岐阜】岐阜県プラスチック工業組合(天松利幸理事長)は七日、岐阜市長川河畔の岐阜グランドホテルで「組創立二十五周年記念式典」を行った。同工組は昭和四十二年六月に創立十七社でスタートし、現在は組合員百一社、賛助会員二十四社で構成している。

記念式典には会員をはじめ中部通商局、岐阜県などから約百五十人が出席した。式典の冒頭、天松理事長が「岐阜県下のプラスチック製品出荷額は県工業出荷額の五%を占めるまでの一大産業に発展できた。現在、平成不況と言われる構造不況になっているが、より一層の工業組合組織の充実に活動強化を図りたい」とあいさつした。この後、記念講演として中根和博財団法人プラスチック処理促進協会調査広報部長が「プラスチックのリサイクルについて」をテーマに講演した。

組創立25周年記念式典 プラスチック工業組合



25周年を機に組合の結束を呼び掛ける大松利幸理事長—岐阜市、岐阜グランドホテル

創立25周年で式典

功労者を表彰、記念講演

県プラスチック工業組合(天松利幸理事長)の創立二十五周年記念式典が七日、岐阜市長の岐阜グランドホテルで開かれ、功労者表彰や記念講演会が行われた。

同組合は、昭和二十五年六月に設立。業界の地位に精進された県プラスチック協会を前身とし、四十二年六月に設立。業界の地位向上のために活動してきた。現在の正会員は百一社、賛助会員は百一社。式典には、興、興、中部通商局など関係者百五十人が参加。天松理事長が「プラスチック製品は県工業出荷額の五%を占めている。業界は昭和三十年代に誕生、わずか三十年余りで大きな発展を遂げた。平成不況は難業そのものが建った。こうした構造的不況が、新素材開発が業界の将来性は明るい。組合の結束を固め前進したい」とあいさつ。

組合功労者表彰の後、財団法人プラスチック処理促進協会の中根和博調査広報部長が「プラスチックのリサイクル」について記念講演した。

表彰されたのは次の皆さん。

- ▽興知事表彰、児玉庄一(タマ樹脂工業会)、吉田博司(美濃化学工業会)、日比津隆(大垣プラスチック工業会)、奥村勝(天田工業監査)、納来一郎(東和化成社)、藤田昌(岐阜長研ボーマー社長)▽理事長感謝状、武藤三(ムトー精工社長)、日藤正(スズ専務)、長原啓八(興工業技術センター専門研究員)、足立敏之(リスエンスアクリン樹脂製課)、河本進一(三光化成岐阜工場係長)、井藤正司(ムトー精工試作課長)。



創立25周年を祝つ

県プラスチック工業組合の創立二十五周年記念式典が七日、岐阜市長川河畔の岐阜グランドホテルで開かれた。会員企業や興商工労働部、県工業技術センターなどの関係者約百五十人が出席した。

式では、理事長の大松利幸が「現在、石油化学メー

カは積極的に新素材開発に取り組んでおり、われわれ成形加工業もチャレンジを求められている。組合の結果を強め、プラスチック業界が発展するよう全力を傾けたい」とあいさつした。また、財団法人プラスチック処理促進協会の調査広報部長、中根和博氏が「プラスチックのリサイクルについて」と題して記念講演した。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂
NOVAMID

ポリカーボネート樹脂
NOVAREX®

PBT樹脂
NOVADUR

中低圧ポリエチレン **NOVATEC** 高圧ポリエチレン **NOVATEC-L**



三菱化成株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル
電話 03(283)6320(大代表) [千100]

景気動向で情報交換

組合青年部の11月研修会開催

工業組合の青年部は、11月研修会を11月6日に岐阜市内のホテルスポーツパルコで開催した。研修テーマは①景気の動向②廃プラとリサイクル③プラスチックの材料価額の変動—などを中心に各部員が話し合った。

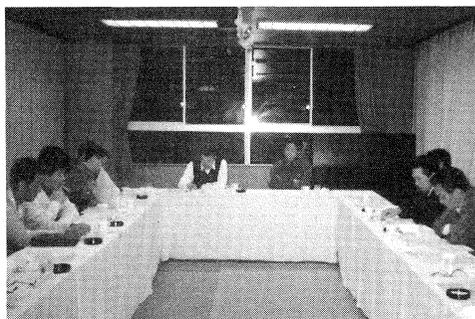
中でも景気問題では「不況の影響は日用品、資材、工業部品全体に広がって低調」「休止している成形機があり、受注残も今年一杯」「土木・建築関係の成形を開拓している」の厳しい報告があり「国・県の景気対策や所得減税などによる消費回復」に期待する声が強かった。

優勝は白木 (フク) さん

岐阜カンで親睦ゴルフ大会

工業組合は10月20日、各務原市にある岐阜カンツリー倶楽部で『第2回理事長杯争奪・組合員健康づくり・親睦ゴルフ大会』を開いた。組合員の健康づくりと親睦をねらいに昨年から実施しているもので、大松理事長ら5パーティー20人が参加した。

優勝したのは白木進さん(フクシマ化学経理部長)で、企業としてはフクシマ化学が前回につづいて連続優勝した。2位は鈴木潔さん(加



業界の景気動向で話し合う青年部員



茂企業総務部長) 3位は日置正さん(リス専務)で、プレーの後、成績順に表彰するなど懇親を深めた。(写真は大松理事長から優勝トロフィーを受ける白木さん)

新会員に穂積町のアバステクノ(株)

工業組合に新しく加入申し込みがあり、11月11日に開いた理事会で承認された。新会員はアバステクノ(株)本巣郡穂積町宝江477、松久武史代表取締役、資本金1,600万円。

TOSHIBA

東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市名村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

豊かなデザイン—3

『エコロジーとリサイクル』

岐阜県プラスチックデザイン協会

■耳慣れた『エコロジー』と『リサイクル』ですが、ファッションの世界でもその動きが見られます。——でどんな動きかといいますと——

■ファッション界というと流行り廃りが激しくスピードそのものの世界でありましたが、昨今は違います。バブルの崩壊から序々にその速度が弱まっています。バブル期の『高くて良い物を持つ』から『自分のものをもつ』時代になりそんな中で、地球環境問題から、ファッション業界でも『エコロジー』が浮上してきます。これは特に“エコロジー色”や“自然素材を使う”ということを中心にした動きで、型も今シーズンしか着られないものではなく、ベーシックで長く着られそうなものが主流でした。まさに『ひとつのものを長く』というエコロジーな流れにぴったりした。

■しかし、自然な素材を使う——バッグに本物の植物を使ったり、ナチュラルなアースカラー（ベージュ、ブラウン、モスグリーンなどを使うことは、エコロジーの、地球を大切にという意味においては少し表層的ではありましたが、——と、少々空回りぎみではありましたが、ようやくベーシックな部分での物の良さが見直されるようになったのです。

■そして、もう一つ、『エコロジー』から派生した『リサイクル』の動きにはおもしろいものがあります。

■最近皆さんもよく耳にする『グランジ [grunge]』は『汚い・だらしない』の意味でもととは、ミュージシャンが手持ちの服を無造作に重ね着したスタイルをいいました。今シーズンは、古着をリサイクルしてラフに重ね着した感じが流行です。コレクションではわざわざ新品の生地を古着に見えるように加工したのもみられました。ま、これはさておき、私たちは昔の服をタンスからひっぱり出して重ね



着やりフォームして着るのが最も流行になりました。特に『リサイクル』の動きはファッションの世界に限らず若いデザイナーの中で活発で、様々なユニークな活動が見られます。驚いたことにすでにフランスではリサイクルが流行・ブームになってしまっています。

■工業用のフェルトを薄切りにしたソファや包帯 (!) をつなぎあわせた洋服——もうこうなるとアート

の世界ですが、売れ残りの服をほどいて刻んで縫い合わせる、正真正銘の『リサイクル』をしているデザイナーが今、パリで一番人気とか。でも、彼の服は（ここがポイントです）この不況時に「儉約・節約」みたいな暗いイメージがなく、明るい色づかいで元気なこと——これが人気の秘密です。

■これからの時代、エコロジーやリサイクルの動きがますます成熟していくでしょう。

これを不況時だから「贅沢は敵、儉約・節約」とストイックに見るか「おしゃれ」と見るかは、ほんとに気の持ちようですよ。

岐阜県工業技術センター (寿)

日用雑貨一筋に信用を積み重ねる

タバタ化学

今年最後の工場訪問は、タバタ化学（武儀郡武儀町下之保1680、資本金 500万円、田畑正春代表）を訪ねた。工場のある武儀町といえば、あの平成ブームで湧いた町。最近は訪れる観光客こそ見られないが、武儀町はこれを機会にイベント会場・平成ふれあいドームを建設したり、関と金山を結ぶ県道58号線を平成こぶし街道と名付けて整備するなど、むらおこしに取り組み活気にあふれている。

田畑さんの工場は津保川をはさみ、平成の里の隣の戸丁集落。一帯は山間の地であるが、建設進む東海北陸自動車道的美濃インターへ約10キロ、また、東海環状自動車道の路線へも近く、将来は新しい展開が待たれるところ。

伝来の土地に成形工場を建て独立

創業は昭和52年。美濃加茂市のフクシマ化学で5年間「研修がてら働いたあと独立した」という。最初の成形機は、フクシマ化学の中古

の130トンの機械。田畑さんは「山里の部落にプラスチック工場を…」と、伝来の畑をつぶし80平方メートルの工場を建て、事業を開始した。

研修を受けたといっても、当時はまだまだ技術不足で製品づくりに四苦八苦、返品や不良品を抱えて悩んだ。そんな時、手を差し伸べてもらった人がフクシマ化学の福島さん。岐栄会に入り、懸命に日用雑貨品の成形に取り組み、リス誕生後も日用雑貨品一筋に進んできた。

田畑さんは「山間の地では技術者を雇えず、従業員は家族とパートだけ。したがって営業や納品時には工場が留守になるので、残った人で作業ができる仕事を考えてきた」と、工賃の良い工業部品や産業資材の成形には目もくれず、日用雑貨品一筋に取り組みしてきた理由を話す。さらに取出し機やロボットを導入するなど、地道ながら工夫と努力で合理化もしてきた。今年6月には3度目の増改築（合計290平方メートル）で工場はゆったり、この不況時にかかわらず4台の成形機は24時間うなりをたてている。

順調なはずの田畑さんにも悩みがある。金型交換時や始業時に出る廃棄樹脂の処理で「工場周辺では燃やすことができず、かといって再生業者は市況の悪化で引き取ってくれない。このため武儀町のプラスチック工場10社で、焼却炉の共同利用計画などの解決策を話し合っているが、うまくいかない」ようだ。それだけに「工業組合が今年から組合事業として取り組みリサイクル問題の結果に大きく期待する」と話す。



今年6月には3度目の増築。成形工場らしくなった

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

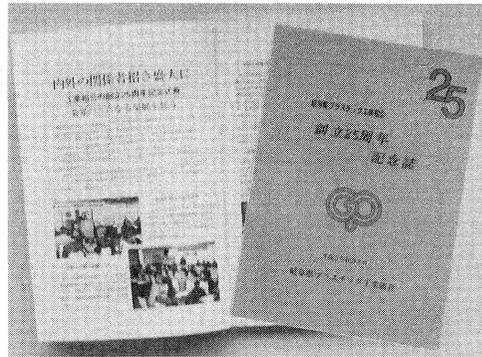
□とどこおりなく創立記念式典終る□

工業組合の『創立25周年記念式典』は、今号のトップ記事で紹介しましたように10月7日午前10時から、岐阜市長良川河畔の岐阜グランドホテルで開催し、とどこおりなく行事を終わることができました。ご協力いただいた各位に紙上ながらお礼を申し上げます。

また、記念事業の一つとして『記念誌』を發刊し、記念式典出席者に配布しました。当日ご欠席の方々や関係機関へは、後日、郵送しましたが、まだ若干、部数が残っております。配布希望先がありましたら組合事務局へお知らせください。組合から郵送し、岐阜県プラスチック業界のPRに、少しでもお役に立てたいと思っています。（写真上は發刊した記念誌）

□初行事は、1月22日の新年互礼会□

工業組合は平成6年の初行事として、1月22日（土曜日）の午後6時から岐阜市六条南にある岐阜平安閣（電話0582-72-1717）で『新年互礼会』を開催します。近く文書で開催案内をお送りしますが、スケジュールを調整され、一人でも多く参加し、組合員相互の親睦・交流の輪を広げてください。



□東京の見本市は参加者少く中止□

J P93・TOKYO、正式には『第15回・日本プラスチック・ゴム見本市』の見学会を10月末に行う予定でしたが、不況のおりから参加希望者が少なく、実施を中止しました。

《お知らせ》平成5年も不況に明け暮れ、混迷の中で師走を迎えます。組合事務局は12月28日まで業務を行い、新年は5日からです。

岐阜県のプラスチック 1993 114号

平成5年11月15日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号

(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

FAX (0582) 76-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 竹内安之

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 (052) 201-7571

出光の石油化学製品

ポリスチレン
スチレン系耐熱樹脂
ポリカーボネート
GFPET

ポリプロピレン
高密度ポリエチレン
直鎖状低密度ポリエチレン
カルブ®



東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-9361(代)
名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号 日土地名古屋ビル5F 〒460 ☎052-204-6051~3

ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

P.V.C.

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎(052)581-0651

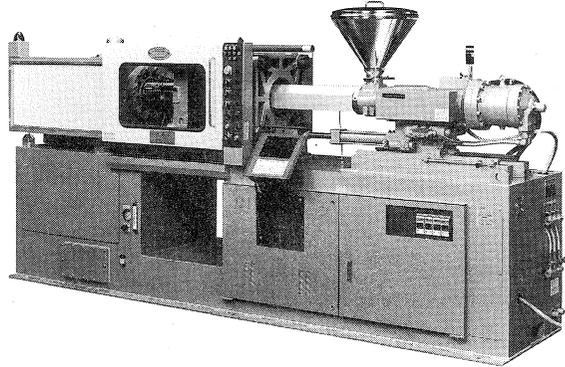
精密成形を支えるトータル思考。

NISSEIは精密成形の高付加価値化に射出成形機・金型・合理化機器・成形技術・材料・環境・ソフトウェア・情報管理などモノ創りを総合成形システムとして推進しています。

NISSEI

日精樹脂工業株式会社

岐阜出張所 / 岐阜県岐阜市善部寺屋敷3-40番ビルF ☎0582-72-5952
 ★名古屋営業所 / 愛知県小牧市外郷2-167 ☎0568-75-9555(代)
 岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三明ビル1F ☎0564-52-1430
 三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎0592-24-0716
 ●本社・工場・技術研究所 / 長野県坂城町商業2110 ☎0268-82-3000(大代表)
 ●東京事務所 ●テクニカルセンター / 本社・相模原・岩槻・大阪・名古屋
 ●営業所 / 全国11ヶ所 ●出張所 / 全国23ヶ所 ●海外サービスステーション / 26ヶ所



ハイテクノロジーに挑戦

MEIKI

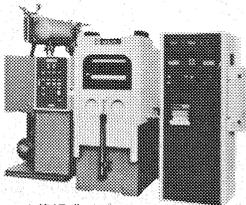
プラスチック、光ディスク、ファインセラミック射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



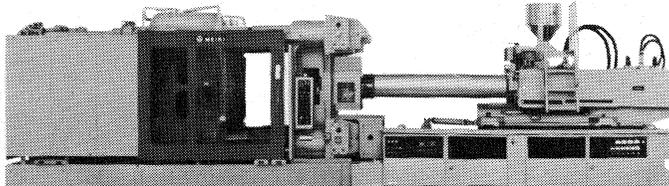
ディスク専用機



セラミック専用機



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社 **名機製作所**

本社・工場
 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎0562>48-2111(代)

時代の進歩に多くを学んでいます。

次は...

JSR 合成樹脂ワイドセレクション

JSR ABS

イッパンヨウ
コウキノウ

JSR AES

タイコウセイジュシ

JSR XT

チヨウタイネツジュシ

JSR NC

ジコシヨウカセイジュシ

JSR NF

ジコシヨウカセイジュシ

JSR MBS

PVCキョウカヨウジュシ

JSR EXCELLOY

フクゴウガタイネツジュシ

JSR CONDUCTOR

ドウデンセイジュシ

JSR AS

コウキノウガタASジュシ

JSR RB

フタジエンジュシ

JSR TR

ネツカソセイエラストマー

JSR SIS

ネツカソセイエラストマー

NYLON 46

NYLON 6. PET-G

コウキノウポリマーアロイ

MAXLOY

DYNA FLEX

エラストマーゲイフクゴウザイ

LINK FLEX

日本合成ゴム株式会社

JSR

東京都中央区築地2-11-24

☎(03)5565-6537

大阪支店☎(06)203-0041

名古屋支店☎(052)571-1231

広島支店☎(082)221-7252



活きてる素材。
三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト[®]

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット[®]

ABS樹脂

ダイヤペット[®] **ABS**

三菱レイヨン

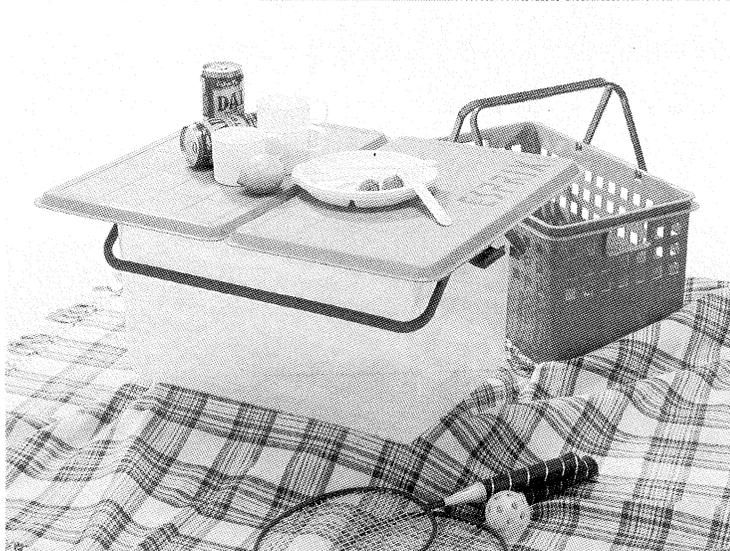
東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

ESPRIX EARTH SPIRIT

エスプリックス

行きはボックスとバスケットにいっぱい詰めて出発。ランチタイムにフタを開けばテーブルに早変わり。帰りは、バスケットをボックスに入れコンパクトに収納できる便利なレジャーボックスです。(フタの内側は、収納スペースになります。)

ボックスがテーブルに早変わり



ダブルボックス

 **リス株式会社**

岐阜プラスチック工業株式会社

- 本社:岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
- 生産本部:各務原市前渡東町4丁目222番地

岐阜プラスチックグループ

- リス興業(株)
- リスパック(株)
- リス(株)
- 東北リス(株)
- 東京リス(株)
- 大阪リス(株)
- 四国リス(株)
- 九州リス(株)
- リスエンジニアリング(株)